

Press Release



2022年12月13日

静岡市上下水道局

アズビル金門株式会社

東芝インフラシステムズ株式会社

株式会社日本ウォーターソリューション

株式会社 Toshin

中部電力株式会社

静岡市における電力スマートメーター通信網を活用した水道自動検針の アタッチメント型スマート水道メーター実証試験に関する基本協定を締結

静岡市上下水道局（公営企業管理者：森下 靖、以下「静岡市」）、アズビル金門株式会社（代表取締役社長：上西 正泰、以下「アズビル金門」）、東芝インフラシステムズ株式会社（代表取締役社長：今野 貴之、以下「東芝インフラシステムズ」）、株式会社日本ウォーターソリューション（代表取締役：福井 幸造）、株式会社 Toshin（代表取締役社長：桐山 英典）、中部電力株式会社（代表取締役社長：林 欣吾、以下「中部電力」）は、本日、静岡市において、中部電力の電力スマートメーター通信網を活用した、水道自動検針のアタッチメント型スマート水道メーター（以下、「アタッチメント」）の実証試験に関する基本協定を締結しました。

現在、水道事業者においては、経営の健全性や効率性を高めるため、ICT や IoT 技術を活用した検針業務の省力化や有収率*向上等への期待が高まっています。

本日公表した実証試験で用いるアタッチメントは、画像撮影やメーター指示値の読取（OCR）機能が具備されているため、電子式水道メーターに取替することなく、既存の水道メーターで自動検針が可能となります。また、内蔵の振動センサにより、近傍管路（宅内・道路側）の漏水検知が可能となります。

実証試験では、静岡市清水区の住宅エリアにおいて、電力スマートメーター通信網による通信を活用して、アタッチメントによる既存水道メーターでの自動検針、及び管路漏水検知機能の評価と有用性を検証することで、自動検針の導入コスト削減と、漏水検知による有収率の向上に寄与していきたいと考えております。

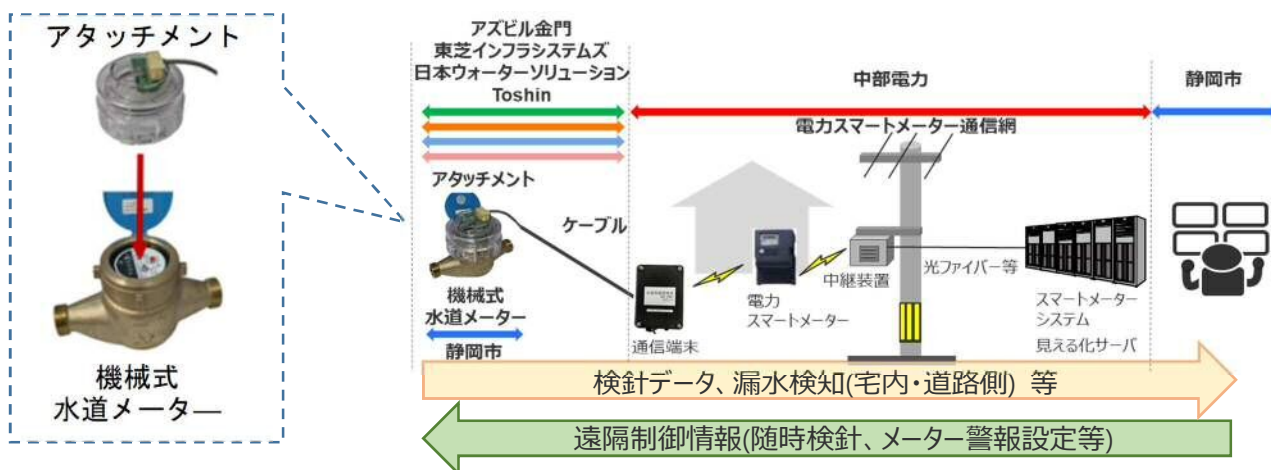
今回の実証試験を通して、静岡市は、水道事業の健全性や効率性を高めることに寄与する最新技術導入の足掛かりとするほか、アズビル金門、東芝インフラシステムズ、日本ウォーターソリューション、株式会社 Toshin は最新技術の更なる精度向上、中部電力は電力スマートメーター通信網を活用した新たな価値の創出を目指していきます。

※ 給水する水量と料金として収入のあった水量との比率のこと。

【実証試験概要】

| | |
|---------|--|
| 期 間 | 2023年1月～2024年1月 |
| 場所・対象 | 静岡市清水区の住宅 100戸（予定） |
| 検 証 内 容 | メーター指示値の読取機能（OCR）の精度 振動センサによる近傍管路（宅内・道路側）の漏水検知精度 など |

【実証設備・システム構成のイメージ】



別紙：アタッチメント型水道スマートメーターの概要

以 上

<お問い合わせ先>

静岡市上下水道局 お客様サービス課

(054) 270-9108

アズビル金門株式会社 営業本部 水機器営業部

(03) 5980-3746

中部電力株式会社 総務・広報・地域共生本部 報道グループ

(052) 961-3582